

令和5年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 10
ID 100604

【施設状況】

グループ名称	中条社会就労センター、地域活動支援センターけやき									
指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう						法人番号	1100005007764		
所管課	主	100600	福祉政策課		副	102000	障害福祉課			
構成施設	5108	中条社会就労センター								
	1419	地域活動支援センターけやき								
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	【施設】鉄骨造2階建 延床面積273.50㎡ 社会事業授産施設：2階部分 作業室、休憩室、事務室 地域活動支援センター：1階部分 作業室3、事務室、休憩室									
施設設置目的	【授産施設】身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に対して、就労又は技能の修得のため必要な機会及び便宜を与えて、その自立を助長することを目的とする。 【地活センター】障害のある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生活活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。									
基本方針等	・身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に、より良い就労環境と機会を与え、障害のあるなしに関わらず施設利用者の枠を超えて交流のできる地域に根ざした施設となることを目指す。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。									
主な実施事業	【授産施設】民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。 【地活センター】地域活動支援センター事業（作業訓練・生活訓練・社会体験訓練・相談）									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう				当該指定管理者の 指定回数	1 回
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和3年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		授産施設(利用者月平均)	人	29	23	22	22	100%	
		地域活動支援センター(利用者月平均)	人	8.2	8	5	5	100%	
(特記事項)【中条社会就労センター】生活保護法の規定による要保護者、障害者の技能修得・就労の機会の提供を目的とする施設であり、定員に余裕があるときは、一般の利用者を受け入れることができる。定員30人 【地域活動支援センターけやき】R5年度地域活動支援センター登録者数:8人(男性7人・女性1人) 定員14人									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・授産施設の事業実施に関する業務 ・授産施設の利用許可・条件付与・許可取消しに関する業務 ・授産施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・授産施設の利用料金の収受、割引等に関する業務 ・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	・地域支援事業(空き家・空き地管理、草刈、農作業支援等) ・農産物加工・販売(切干大根、野菜販売等) ・薪制作・販売(伐採時に危険を伴うことから、令和5年度をもって終了) ・利用者の生活支援(生活相談への対応、障害福祉サービス・介護保険サービスの支援会議参加、買物対応)							
サービス維持・向上の取組み(広報等)		利用者の特性にあわせて、作業を選択できるようにした。 地域に根差した自主事業を展開した。							

4

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り		3
	(2) 調査、会議等の内容 施設利用者が発言しやすい環境づくりを心掛け、また、要望・苦情を随時受付できる体制とし、利用者要望等を把握			
	(3) 調査、会議等の結果 気軽な雰囲気の中で発せられる利用者からの率直な意見等を把握、これらについて、職員間で情報を共有			
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 【中条社会就労センター】 ・内職作業だけでなく、地区内外の除草作業・清掃作業、農産物の栽培・加工等、作業の選択肢がいくつもあり、利用者からは「自分に適した作業を行うことができる」と、好評となっている。 【地域活動支援センターけやき】 ・利用者には、地域の一員としての自覚を促し、交流の機会を通じて自尊心が高まり、施設利用が生きがいと感じているようである。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 現時点で、特段把握しているものはないが、 常時「雑談」として自由な発言を促し、利用者が悩みごとや困りごとをため込まないようにしている。			
	《対応措置》			

4 事業収支

No. 10

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価				
		年度計画額		収支実績額			令和5年度決算			令和4年度決算(前年度)			
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額		
収入	利用料金	50,000	利用料金	62,251	歳入	使用料	0	使用料	0	4			
	指定管理料	27,917,000	指定管理料	27,917,000		雑(納付金)	0	雑(納付金)	0				
	委託料	0	委託料	0		行政財産目的外使用料	0	行政財産目的外使用料	0				
	販売収入等	0	販売収入等	0		貸付料	0	貸付料	0				
	その他収入	925,000	その他収入	875,396		その他	0	その他	0				
	作業収入	4,500,000	作業収入	3,886,229		保護施設事務費負担金	18,627,700	保護施設事務費負担金	18,719,910				
	就労奨励費	315,000	就労奨励費	274,220									
	計	33,707,000	計	33,015,096		計	18,627,700	計	18,719,910				
	支出	人件費	23,967,000	人件費		23,548,842	歳出	指定管理料	27,917,000		指定管理料	27,609,000	4
		設備管理費	1,060,000	設備管理費		1,193,111		委託料	0		委託料	0	
備品購入費		130,000	備品購入費	81,200	需用費	0		需用費	0				
修繕費		410,000	修繕費	149,649	役務費	22,547		役務費	21,362				
光熱水費		830,000	光熱水費	833,890	使用料・賃借料	341,220		使用料・賃借料	344,520				
事業費		1,835,000	事業費	1,620,067	修繕費	0		修繕費	0				
事務経費		660,000	事務経費	1,054,351	工事請負費	0		工事請負費	264,000				
本社経費		0	本社経費	0	備品購入費	0		備品購入費	0				
その他		0	その他	0	その他	0		その他	0				
作業工賃		4,500,000	作業工賃	3,886,229									
就労奨励費	315,000	就労奨励費	274,220										
計	33,707,000	計	32,641,559	計	28,280,767	計	28,238,882						
自主事業	収入	3,585,000	収入	4,734,762									
	支出	3,310,000	支出	4,447,946									
	自主事業損益	275,000	自主事業損益	286,816									
損益	275,000		660,353		差引	-9,653,067		-9,518,972					
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									72.1%				
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由													

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) ・常勤7人(7人)、非常勤1人(1人) 【内訳】2施設責任者各1人、常勤指導員3人、非常勤指導員1人、常勤支援員2人		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☒	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☒	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☒	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☒	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	☒	3

6 危機管理体制

※ すべて ☒ で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 10

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	4
	・地元からの積極的な雇用 ・地元住民や地元企業からの作業委託 ・地域支援事業(自主事業)の実施 ・地域行事への協力・参加 ・地域内の空地空家管理への協力 ・地元の保健師や民生委員等との連携に努め、情報の共有を図っている。	【地域活動支援センター】 ・地元の保育園や小学校の子ども達との交流の一環で、自主事業で農作物を栽培している畑の種まきを、利用者と子ども達と一緒にに行った。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 66
施設の有効活用	4	8	
利用者評価	3	12	
事業収支	4	8	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	

評価理由

高齢化、過疎化が進む中条地区の状況を逆手に取り、積極的に空き地や空き家等の除草作業や農作業支援を行っている。施設内部で作業するという従来の発想を転換し自主事業に取り組み、収益を上げると同時に、地域への貢献度も高いことから、「施設の有効活用」、「事業収支」及び「地域連携」について、評価を「4」とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題

施設建設から40年近くが経過し、適切な維持管理を行っていく必要がある。

改善状況

劣化状況の早期把握に努めた。

改善案等(改善されていない場合)

施設の経年劣化が進んでおり、利用に支障が出ないよう、随時、修繕等を行っていく。

次年度の目標・
取組み等
(施設所管課)

・施設の老朽化が進んでいることから、日々の点検等を通じ、不具合箇所の早期発見に努め、基本協定に定める責任分担に基づき、計画的に修繕等を行う。
・2施設(中条社会就労センター・地域活動支援センターけやき)の事業収支報告書作成は煩雑であることから、より報告書の精度を高めるため、指定管理者に対し、税理士や公認会計士等の活用を検討するよう依頼する。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

2施設統合管理として、各事業所の方針等の見直しを重点とし、職員への業務内容の周知を図り、運営を行った。よって各事業所の運営方針にメリハリを持たせながら、事業に取り組むことができた。

特に各事業所と地域の特性を考慮し、全員参加を促しながら、地域のための自主事業を展開してきた。このため各事業所職員・利用者との共有・共存のあり方が深まった。

② 業務の効率化に対する取組み

各事業所は、異なる業務内容だが、運営方針・利用目的の認識を改め、また、各事業所職員同士の情報交換・協力体制の強化に努めることで、柔軟に業務に取り組んだ。

③ その他

各事業所の提供内容を広く構え、選択肢のある利用内容に努めた。地域貢献に主眼を置いた運営に努め、地域からの信頼を得るとともに、地域における必要性が高まったと感じている。

・介護保険対象者(要支援1～2、要介護1～2、※障害者手帳未所持)の地域活動支援センターの利用に関する相談が複数あることから、既存利用者への影響を考慮しながら、本利用に向けた調整を行い、利用者数増に繋げていく。

・昨年度、期間限定(約1ヶ月)でガストープのクリーニング業務受託した企業(所在地:安茂里)から、施設外就労をの打診を受けている。自主事業の収入増並びに利用者の工賃増に繋がることから、職員体制等を調整の上、受託に繋げていく。

・不定期ではあるが、地域活動支援センターの作業室のうち1室を地区の住民に無料で開放している。開放時は作業室の備品を使って、「さをり織り」を製作しており、地域活動支援センターの女性利用者も一緒に参加している。製品の評判は上々で、年間で数十万程度の売り上げが見込まれることから、今後、作業室の貸し出し料金の徴収を検討している。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

2施設統合管理に安定は見えてきたものの、中条地区での利用者減少が進んでいる。各事業所の設置目的のほかに住民が集える場所としての運営にも取り組みたいと考えている。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

2施設統合運営管理としての落ち着きが見え、発展性のある運営に取り組んでいるが、発利用者数が伸び悩んでいる。

② 次年度以降の取組み

利用者確保のため、魅力ある事業運営に取り組んでいきたい。